

技術・家庭(技術分野)

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書 ◆	技術 002-72	A B 298	令和6年
6	教育図書	教 図 ◆	技術 006-73 006-74	A 4 変形 304	
9	開隆堂出版	開隆堂 ◆	技術 009-72	A B 314	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」(学校教育法第34条第2項に規定する教材)の発行予定があることを示しています。

校 種		聴覚障害特別支援学校	肢体不自由・病弱特別支援学校
観点	生徒の実態	・両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上で、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度である。	・肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度である。 ・慢性の疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度である。
	内容の取扱い等	1 障害のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等 2 障害への配慮を要する内容等	①視覚的な方法等を活用した学習活動が工夫できるもの。 ②生活経験を広げるような学習活動を紹介しているもの。 ①上肢の操作を伴うものであっても、教材や補助的手段等を活用して、実際に学習しやすい活動があるもの。 ②経験不足を補えるように、生活に結び付いた学習活動が示されているもの。 ③肢体不自由や病弱の理解にかかわる記述があるもの。 ①上肢の操作を伴うため、道具等を扱う学習活動に困難が想定されるもの。 ②安全への配慮から、道具等の取扱いに困難が想定されるもの。 ③アレルギー疾患等にかかわる配慮が必要なもの。
	構成上の工夫	障害の状態に応じた事項、その他	①聴覚の障害を補えるように、概要や手順を写真、図絵等で視覚的に説明しているもの。 ①学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されていたり、各単元等のまとまりが記されていたりするもの。 ②体験の不足を補えるように、写真、図表等で視覚的に示されているもの。

中学部 技術(聴覚障害特別支援学校)

教科書発行者			東書	教図	開隆堂
内 容	内容区分のページ数	材料と加工の技術	62	68	80
		生物育成の技術	48	53	52
		エネルギー変換の技術	62	65	54
		情報の技術	68	84	74
	生活や社会を支える技術に関する ページ数	材料と加工の技術	32	20	24
		生物育成の技術	18	14	22
		エネルギー変換の技術	32	24	30
		情報の技術	22	20	36
	技術による問題の解決に関するペー ジ数	材料と加工の技術	20	44	48
		生物育成の技術	20	35	22
		エネルギー変換の技術	20	37	16
		情報の技術	36	60	30
	社会の発展と技術に関する ページ数	材料と加工の技術	10	4	8
		生物育成の技術	10	4	8
		エネルギー変換の技術	10	4	8
		情報の技術	10	4	8
	実践的・体験的な活動に関する内容を取り上げている箇所数		21	27	32
	安全・衛生に関する事項を取り上げている箇所数		18	50	25
	勤労観・職業観に関する内容を取り上げている箇所数		34	19	7
	持続可能な社会に関する内容を取り上げている単元数		12	5	6
	発展的な内容を取り上げている箇所数		0	0	1
	聴覚障害のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①視覚的な方法等を活用した学習活動が工夫できるもの。 ②生活経験を広げるような学習活動を紹介しているもの。		38箇所 ①「身の回りのエネルギー変換の技術」では、手回し発電機同士をつないで回転数の違いを調べる活動がある。(P139) ②「情報セキュリティの仕組み」では、家や学校の情報セキュリティ対策について調べる活動がある。(P211)	27箇所 ①「計画通りに育てよう」では、ミニダイコンについて、写真と説明文により栽培の手順を学べる活動がある。(P119) ②「社会の発展とエネルギー変換の技術」では、エネルギー変換の技術の発展と生活との関係について考える活動がある。(P170)	35箇所 ①「木材の性質と種類」では、木材を水に入れ、沈み方により性質の違いを考える活動がある。(P31) ②「身の回りにおける情報の技術」では、スマートフォンを便利にしている機能を調べる活動がある。(P214)
	聴覚障害への配慮を要する内容等について ①言葉や音を聞き取る活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。		1箇所 ①「情報モラル」では、情報サービスの利用の一例として、イヤホンを用いて動画等を視聴する活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P216)	2箇所 ①「情報通信ネットワークのしくみを知ろう」では、携帯電話を使用して会話をする活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P180)	1箇所 ①「情報のデジタル化」では、アナログの音を電気信号に変換し、デジタル化する仕組みを解説しており、取り扱う際に配慮が必要である。(P219)
構 成 上 の 工 夫	本文の文字の大きさ	11ポイント	11ポイント	11ポイント	
	1ページの基本的な文字数	25文字×15行	25文字×14行	29文字×18行	
	欄外の文字の大きさ	7.5ポイント	7.5ポイント	7.5ポイント	
	ふりがな	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字	
	障害の状態に応じた事項、その他 ①聴覚の障害を補えるように、概要や手順を写真、図絵等で視覚的に説明しているもの。	①「情報の技術の問題解決の工夫」では、屋外に設置された自動販売機の情報処理の様子をイラストで示している。(P219)	①「実習の安全な進め方を知ろう」では、技術室の安全な使い方についてイラストで示している。(P34-35)	①「丈夫な構造や部材」では、材料の組み方により強度を得る方法をイラストで示している。(P40-41)	
参 考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	
	脱炭素化の扱い	あり	あり	あり	
	持続可能な社会づくりの扱い	あり	あり	あり	
	オリンピック・パラリンピックの扱い	なし	なし	あり	

中学部 技術(肢体不自由・病弱特別支援学校)

教科書発行者		東書	教図	開隆堂
内容	内容区分のページ数	材料と加工の技術 62 生物育成の技術 48 エネルギー変換の技術 62 情報の技術 68	68 53 65 84	80 52 54 74
	生活や社会を支える技術に関するページ数	材料と加工の技術 32 生物育成の技術 18 エネルギー変換の技術 32 情報の技術 22	20 14 24 20	24 22 30 36
	技術による問題の解決に関するページ数	材料と加工の技術 20 生物育成の技術 20 エネルギー変換の技術 20 情報の技術 36	44 35 37 60	48 22 16 30
	社会の発展と技術に関するページ数	材料と加工の技術 10 生物育成の技術 10 エネルギー変換の技術 10 情報の技術 10	4 4 4 4	8 8 8 8
	実践的・体験的な活動に関する内容を取り上げている箇所数	21	27	32
	安全・衛生に関する事項を取り上げている箇所数	18	50	25
	勤労観・職業観に関する内容を取り上げている箇所数	34	19	7
	持続可能な社会に関する内容を取り上げている単元数	12	5	6
	発展的な内容を取り上げている箇所数	0	0	1
	肢体不自由・病弱の生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について	28箇所	24箇所	29箇所
	①上肢の操作を伴うものであっても、教材や補助的手段等を活用して、実際に学習しやすい活動があるもの。	①「解決策の構想(1) 製作品の設計」では、3D-CADソフトウェアを用いてモデルを作成する手順の例を示している。(P64)	①「身近な問題を解決してみよう」では、コンピュータや3Dプリンタを活用した設計を示している。(P51)	①「製図のルールとかき方」では、コンピュータを活用した設計を示している。(P46)
	②経験不足を補えるように、生活に結び付いた学習活動が示されているもの。	②「身の回りの情報の技術」では、身の回りの情報の技術が、快適で便利な生活や社会を支えていることについて考える活動がある。(P200-201)	②「情報の技術を見つこう」では、情報の技術が、身近な生活や社会でどのように使われているのかについて考える活動がある。(P174-175)	②「問題の発見と課題の設定」では、ごみが散乱しているごみ置き場の例を示し、問題の解決方法について考える活動がある。(P53)
	③肢体不自由や病弱の理解にかかわる記述があるもの。	③「材料と加工の技術の問題解決の工夫」では、手指を動かすににくい方など向けに、3Dプリンタで作る自動具を示している。(P56)	③「社会の発展と情報の技術」では、コンピュータに対して、視線で文字を入力して意思を表すことができる装置を示している。(P242)	③「機械と動力」では、電動車いすを例に挙げ、入力部や出力部など、機械の構成要素を示している。(P178)
	肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について	41箇所	37箇所	43箇所
	①上肢の操作を伴うため、道具等を扱う学習活動に困難が想定されるもの。	①「機械の共通部品と保守点検の大切さ」では、自転車の保守点検をして、注油する活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P165)	①「問題を解決する流れを考えよう」では、ロボットハンドの製作において、アルミフレームを折り曲げる活動などがあり、取り扱う際に配慮が必要である。(P142-143)	①「電気機器の保守点検」では、回路計を用いて電気回路に異常がないかを検査する活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P176)
	②安全への配慮から、道具等の取扱いに困難が想定されるもの。	②「TECH Lab 製作の基礎技能」では、卓上ボール盤により木材に穴をあける活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P46)	②「身近な問題を解決してみよう」では、オルゴールを製作する際に、はんだ付けをする活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P154-155)	②「切断」では、両刃のこぎりをを用いて木材を切断する方法を理解し、正確かつ効率よく作業する活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P79)
	③アレルギー疾患等にかかわる配慮が必要なもの。	③「成長段階に合わせた育成」では、ミニトマトの栽培の際に、土に触れる活動があり、アレルギーへの配慮が必要である。(P112-117)	③「身近な問題を解決してみよう」では、ミニダイコンの栽培の際に、土に触れる活動があり、アレルギーへの配慮が必要である。(P96-99)	③「生物育成の技術による問題解決」では、ラディッシュの栽培の際に、土に触れる活動があり、アレルギーへの配慮が必要である。(P140-141)
構成上の工夫	本文の文字の大きさ	11ポイント	11ポイント	11ポイント
	1ページの基本的な文字数	25文字×15行	25文字×14行	29文字×18行
	欄外の文字の大きさ	7.5ポイント	7.5ポイント	7.5ポイント
	ふりがな	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字
	障害の状態に応じた事項、その他	①学習をしたことを振り返るよう、編末に用語等をまとめて示している。(P194-195など) ②「計測・制御システムとは」では、自動配膳ロボットの中の計測・制御システムについて、写真とイラストで示している。(P239)	①学習内容の定着状況を確認できるよう、編末に問いをまとめて示している。(P111など) ②「実習や見学の安全な進め方を知ろう」では、実習や見学をする際の注意事項について、写真とイラストで示している。(P84-85)	①学習内容の定着状況を確認できるよう、編末に問いをまとめて示している。(P154-155など) ②「情報の技術」では、セルフレジに用いられている情報の技術のしくみについて、写真と表で示している。(P213)
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり
	脱炭素化の扱い	あり	あり	あり
	持続可能な社会づくりの扱い	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	なし	なし	あり